

6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		7,878	95%	8,113	93	97%	84	-	-	終盤の千葉産は切り上がりは例年と変わらずだが、シーズン当初から出荷前進しており量的には少なかった前年並み。青森・北海道産は前年生育進んでいたが、本年は平年並みの出回り状況となる。気温高による品質低下、青森・北海道産は5月中旬の強風のため下位等級品の発生の懸念もあり、月計の予想入荷量は前年比95%。上旬は関東産が切り上がり、上げ気配強まるが、中旬以降は青森・北海道産の増量により下げながらの推移となる。価格は前年よりやや安く、平年よりやや高。
はくさい		6,037	並	5,579	72	83%	74	-	-	主力長野産は前年より若干遅れは見られるも、ほぼ平年並み。株も植わっており、6月は平年作の見込み。月計の予想入荷量は順調だった前年並み。上旬は終盤の茨城産が急減し、群馬産がピークを迎え相場は保合い推移も、中旬以降は長野産の増量にともない下げながらの推移。5月下旬時点の販売苦戦の流れ続き、価格は前年、平年比よりも安。
キャベツ類		15,278	並	15,325	94	80%	76	-	-	関東産はシーズン後半に入るが、生育順調。今後の天候次第だが、生育前進の可能性もあり。群馬産は生育前進した前年より遅れはあるも、平年並み。例年通り6月中旬から出荷開始の見込み。月計の予想入荷量は前年と変わらず。上中旬は関東産のピークで相場は弱めの展開だが、下旬には産地移行のため端境となり、上げ気配強まる見込み。価格は基調高の前年比安だが平年並み。
ねぎ		3,723	105%	3,949	446	85%	374	0	0.0	茨城、千葉産とも前年は生育前進したが、本年は平年並み。現状、作柄は平年作と安定している。千葉産は作付増の流れもあり、月計の予想入荷量は前年比105%。上中旬まで相場は保合い推移も、下旬は関東産から東北産への移行期となり、上げ気配強まる。本年は中国産も出回り順調の見込みから、国産品の引合いは前年ほど強くはなく、価格は高値の前年比安も平年並み。
きゅうり		7,324	並	7,293	267	97%	244	183	0.0	終盤の関東産は平年作。東北産は現状、出荷ペースは緩慢だが、6月には回復し入荷順調の見込み。月計の予想入荷量は前年並み。上旬は関東産、西南暖地産も減少に向かうが、東北産が増えきらず上げ気配強まり、中旬は相場保合い。下旬になって東北産の露地物が本格的に出回り下げ気配強まる。価格はほぼ前年並みだが、平年よりやや安。

6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
なす		3,429	並	3,336	411	95%	361	-	-	西南暖地産、関東産とも天候次第で日々の増減はあるも、目立った問題なく、作柄は概ね順調。6月は梅雨入りし、作柄の乱れが予想されるが、月計の予想入荷量は前年と横ばい。上旬は西南暖地産も不足なく入荷し、相場は保合い。中旬以降は関東産の露地物の増量にともない軟調推移。価格は前年より若干安だが、平年よりは高い。
トマト		9,120	微増	9,389	297	93%	276	20	0.0	西南暖地産は減りながらの推移。関東産は現状、出方は鈍いが、6月は平年並みに回復の見込み。東北産は低温のためやや出遅れの予想も、北海道産は前年と同じく5月下旬からのスタート。各産地とも状況はまちまちだが、生育環境は前年よりも良好で、月計の予想入荷量は前年より微増。上旬まで西南暖地産、関東産とも潤沢に出回り、下げ気配強まるが、中旬は産地移行期のため端境となり上げに転じ、東北、北海道産が本格出荷は保合い推移。価格は前年比安だが平年並み。